



「規律」と「温かみ」

令和7年度 安中市立安中小学校グランドデザイン

もっと前進！チーム安小！

群馬県「学校教育の指針」

- ◎ 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す
- 自立した学び・多様な学び
- 非認知能力
- 児童が「～する」授業
- 人権教育・道徳教育
- 特別支援教育

安中市の学校教育

- ◎ 未来社会を切り拓く「生きる力」の育成
- ◎ 自立・協働・創造
- ◎ ふるさとを愛し、希望に満ちた“安中っ子”の育成
- ◎ 一人一人を大切にされた教育

テーマ

聴く学校

対話

151年の歴史と伝統から
未来へ

A

一人一人、全員のしあわせのために

P

<< 学校教育目標 >>

心ゆたかで 自ら学ぶ たくましい子

(ありがたい気持ち) (自分からの気持ち) (最後まで気持ち)

ゆたかな心 徳

- あたたかな人間関係づくり
 - 聴くことを土台とした対話
 - 授業の一層の充実
 - 児童理解と心の居場所づくり
 - 子どもや親を好きになる努力
 - 場に応じたあいさつと言葉遣い
 - 積極的な生徒指導
 - 聴き合い、対話し、互いを知る
 - いじめを生まない・許さない学校風土
 - 自主的活動を促す特別活動
 - 時と場とヒントを与えて待つ指導・支援 やりたい気持ち
 - 心を育む体験活動
 - 本物体験・直接体験・SDGS

確かな学力 知

- 主体的に向かえる授業づくり
 - 深い学びの実現
 - 「～したくなる」授業づくり
 - 目的のある対話の重視
 - 「教えました」を言い訳にしない学習指導
 - 脳ミソを使い合う場面の構想
 - わからなさを追究する
 - 教科担任・交換授業の推進
 - 家庭学習の推進・習慣化
 - 「家庭学習の手引き」「学びアップ週間」の工夫と改善
 - 授業力向上に直結する研修
 - ボトムアップの研修
 - 見合う・見せ合う・学び合う・教え合う関係性の継続
 - 校外の環境の学習活動への活用
 - 探究につながる生活科・総合

健康な心と体 体

- たくましい心と体づくり
 - 継続的な体づくりの推進
 - 日常的に動ける場の設定
 - 継続的な取組によるあきらめない心の涵養
 - 健康を守る環境づくり
 - 登校状況や日常の健康観察・健康診断等を通じた、健康状態の把握と保健管理
 - 食物アレルギー疾患等の要配慮児童への確実な共通理解と対応
 - 基本的な生活習慣とマナーの徹底
 - 心の健康づくり
 - プラス志向の働きかけ
 - 日常的な教育相談活動の継続
 - スクールカウンセラーとの連携強化と継続相談
 - 安全指導と安全管理の徹底
 - 危機回避能力の育成
 - 避難訓練後の評価を改善に

C

D

保護者・地域との連携 ～ 学校をひらく = 教職員自らをひらく ～

- 学校運営協議会 ● PTA ● 読み聞かせボランティア ● 地域の見守り活動 ● 幼・保・中との連携 ● 専門機関との連携
- 学校評価（保護者アンケート） ● 外部の方の教育活動支援 ● 教育活動の積極的な公開（各種通信・HP・授業公開）

目指す学校像

- 子ども・保護者・地域・職員が愛し、誇りに思う学校
- ★ 元気に登校、笑顔で下校
 - ★ あいさついっぱい、笑顔いっぱい、友達いっぱい

学校経営の方針

- ★ <児童にとって>
 - 主体的になれる授業、学び合って楽しい活動、認めてもらえる日々
 - 自己肯定感と自己有用感
- ★ <保護者や地域にとって>
 - 聴いてくれる、相談しやすい
 - 地域の中の学校、共にある学校
- ★ <教職員にとって>
 - 機動的で効率的な組織力の強化
 - 話しやすく相談しやすい職員室
- ★ <すべての人にとって>
 - 危機管理の上に立つ安心・安全

目指す教職員像

信頼される教職員 = 3S

- ★ スマイル：笑顔
- ★ スピード：誠実で迅速な対応
- ★ セイフティー：安心・安全

目配り・気配り・心くばり

報告・連絡・相談・確認

時を守り、場を清め、礼をつくす

時間対効果 働き方改革